

GOOD MORNING



和に学ぶ

新たな価値の創造
倫理経営フォーラム特集

- P02: 倫理経営フォーラム特集
- P04: 倫理経営講演会自主企画
- P08: 中野里陽平×中野陽平対談**
- P10: 若手経営者に訊く
- P12: 朝食会・第三ブロック
- P13: 活力朝礼甲子園、始動
- P14: AIogram/スピーチFesta!
- P15: イベントカレンダー/編集後記

価値創造の源泉

社員を信じ、社会と共に歩む経営

「良い会社」の根幹には、常に「人」と「縁」があります。今回の対談は、中野里陽平中央区倫理法人会幹事のご縁で実現しました。世界へ羽ばたくキッコーマンの茂木修専務と、東京都倫理法人会の山口会長。老舗の伝統と純粋倫理の実践。二つの道が交差する「価値創造」の真髄に迫ります。聞き手 山本 莉那 氏(東京都倫理法人会 副幹事長)

本日は「価値創造」をテーマに、お二人の経営哲学を伺います。まず、お二人が理想とされる「良い会社」の定義をお聞かせください。

山口： 一般には大きさや利益が「良い会社」と言われますが、倫理法人会の学びでは「社員を大切にできる会社」が最も素晴らしい会社だと考えています。

茂木： 最近の言葉で言うと「社員のエンゲージメント」が高い会社です。社員一人ひとりが輝いて活躍できる舞台を用意できる会社が良い会社だと思います。

長い歴史を支える経営者として、大切にされている理念は。

茂木： 「社会と共栄共存」です。日本だけでなく海外でも、社会と共に栄え、共に存続することを重視しています。

苦難の前で迷う時、最終的な意思決定の基準はどこにありますか。

山口： 私の本業は保育園の待機児童解消・子育て支援です。地域に望まれる子育て支援の基地を作れるか、職員が生き生き働けるか、保育士が子どもと未来を作れるかを基準に新設を決めます。

茂木： 最近の言葉で言うと「社員のエンゲージメント」が高い会社です。社員一人ひとりが輝いて活躍できる舞台を用意できる会社が良い会社だと思います。

経営において「信用」とは何だと思われませんか。

山口： 自分で決めたことをまず守り、他者との約束もきちんと守り続けること。長年の継続で信頼を勝ち取れると考えています。

茂木： 約束を守ることです。品質・安全を提供するという約束を守らなければブランド価値は一気に落ちます。約束を堅持することが極めて重要です。

キッコーマン株式会社 代表取締役専務執行役員 茂木 修 氏

【世界を舞台に挑み続ける、実践派グローバル経営者】
世界的食品メーカー・キッコーマングループにおいて、国際事業の中核を担う経営者。海外100以上の国と地域に広がる事業の最前線で、グローバル戦略と現地経営を統括し、日本の食文化外資系コンサルティングファームでの実務経験、海外MBAで培った経営視点を礎に、キッコーマン入社後、海外市場において、現地法人設立やブランド強化を主導し、同社の国際成長を牽引しています。

社会福祉法人ちとせ交友会 理事長 山口 哲史 氏

【グループ年商約180億円、職員数2,500名を擁する教育・福祉界のリーダー】
全国に約70拠点の保育施設、介護・障害者事業、医療法人を展開する、日本最大級の社会福祉法人「ちとせ福祉事業」に革新をもたらしました。現在はグループ年商約180億円、総勢2,500名の職員を束ねる傍ら、乳幼児教育から小学校教育までを一貫して見据え、日本の未来を担う子供たちのために尽力し続ける、

この貴重な語らいの続きを、ぜひ会場でご体感してください。

来たる6月13日、第3回「倫理経営フォーラム」を開催いたします。本対談の茂木専務をはじめ、第一線のリーダーたちが登壇！この学びの場が、皆様の経営における新たな一歩となることを願っております。ご来場を

「日本創成」を旗印に、行政や他団体と連携し、東京から全国へ倫理経営の真価を発信します。会の地位向上と知名度拡大を目指すこの場には、未来を創る経営者の熱気が集結。志を共にする仲間と出会い、新たな価値を創造する。東京から日本を変える熱狂を、ぜひ会場でご体感してください。今年度は2026年6月13日京王プラザホテルにて開催です。

経営において「信用」とは何だと思われませんか。

山口： 自分で決めたことをまず守り、他者との約束もきちんと守り続けること。長年の継続で信頼を勝ち取れると考えています。

茂木： 約束を守ることです。品質・安全を提供するという約束を守らなければブランド価値は一気に落ちます。約束を堅持することが極めて重要です。

経営者としての幸せ、人生の幸せについてはどうお考えですか。

山口： 関わる全ての人が幸福感を増していける人生。健康・家族・会社・地域が仲良く、最後に「良い人生だった」と思えることが最高だと考えます。

茂木： 私たちは食品メーカーとして、商品を通じて世界中に笑顔を作ることが幸せ。新入社員にも「頑張るほど世界に笑顔が増える」と伝えています。

東京都倫理法人会のテーマでもある「価値創造」についてお聞かせください。

山口： 純粋倫理を個人が守ることで幸せになり、家族や組織が充実し、日本創生、さらには地球倫理へと広がる。戦争のない世界を目指し、1~2年で1ミリでも世の中を良くする価値創造を積み重ねることだと考えています。

茂木： 当社のコーポレートスローガンは「おいしい記憶をつくりたい」です。日本独特の醤油を世界で使っていただくため努力し、各国の食材に醤油を用いて新しい美味しさを見出すことが当社の価値創造です。

キッコーマン様は海外でも大きな成果を上げられていますが、その背景にあるものは。

茂木： 現在は売上約8割、事業利益約9割を海外が占める状況ですが、現地の社会に溶け込むことを大切にしています。工場の周年では日米フォーラムを開催して地元へ公開したり、教育分野への寄付や、給水所、鉄道引込線、銀行、病院、保育所といった地域インフラの整備も行ってきました。女性従業員が子どもを預けて働ける環境を整えるなど、地域づくりを重視しています。

山口： 素晴らしい取り組みですね。代々受け継がれている教えもあるのでしょうか。

茂木： 社内の教えとして「贅沢をしない」「従業員と同じ食事」「過度な社会貢献は借金してまで行わない」「本業である醤油から逸脱しない」「徳が最重要で、財は後から付いてくる」などがDNAとして受け継がれています。

を世界へと広げてきました。後は経営企画・海外事業を歴任。欧米をはじめとする

交友会」のトップです。倫理経営を取り入れた経営手腕を活かし、2021年からは名門校である学校法人朝日学園の理事長も兼任されています。稀代の社会実業家です。東京都倫理法人会第14代会長。

心よりお待ちしております。

得意になった時は慎重に、常に心を置いて話すことを大切にしています。これは倫理法人会の教えとも一致する部分があると感じています。

真面目な方では「捨我全(しゃがとくぜん)」。溜め込まず捨て、新しいものを得る。実践が難しいですが、心掛けています。もう一つは「棚からぼた餅」。人生は運であり、その運をつかみ活かせるのが大事だというユーモアを含んでいます。

自主企画

本年度の倫理経営講演会は、初の試みとして「自主企画」が可能になりました。これまでの枠を超え、講師選定から細やかなおもてなしに至るまで、すべてを会員のアイデアと実行によってゼロから創り上げます。

合同開催という自由な選択肢も可能となり

「今、本当に必要な学びとは何か」と知恵を絞るプロセスも会員の主体性を呼び覚ます要因となっています。

次代を担うリーダーを育てる最高のステージ、

マニュアルのない舞台に吹き込まれる会員たちの情熱。

今回は、その先駆けとして自主企画を成功させた霞が関、

文京区、渋谷区の熱気あふれる取り組みと、

初の合同開催に沸く多摩南地区3単会の様子をご紹介します。



GARDEN PALACE

霞が関倫理法人会 特別講演会レポート

2月12日、倫理経営講演会の代替行事である自主企画、霞が関倫理法人会の特別講演会が開催されました。

講演・パネルディスカッション 純粹倫理の実践がつくる未来

講師の高嶋民雄法人アドバイザー（東京都倫理法人会 第12代会長）は、経営者の心の在り方が事業のすべてに投影される「鏡」とであると説かれました。かつて研修に社員を送り出しながら、意図せず自らの言動でその芽を摘んでいたことに気づき、「失敗を認め、褒める」姿勢へと転換したことで、組織の在り方は一変したといいます。予期せぬ苦難も、腹を括って正々堂々と向き合うことで、自己を脱皮させる「幸福の門」となる。身近な実践を「できるまで」愚直に繰り返す純粹な実験が、未来を切り拓く原動力になるという、力強いメッセージをいただきました。



続く座談会では、歴代会長が実体験を交えて語り合いました。小林良子法人スーパーバイザー（第13代会長）は、力みを捨て「順序を正す」実践を軸に、起業の遅れという苦難を越えて事業成長を実現。家業の廃業を経験した山口哲史東京都倫理法人会会長（第14代会長）は、変化の激しい時代こそ「即実践」で応じるスピードが命運を分け、組織を伸ばす鍵は、自分以外の人を通して成果を出すことにありと強調されました。孤独な決断の連続も、明朗・愛和・喜働の精神でビッグビジョンを掲げ続ける。その揺るぎない在り方が、停滞を打破し、組織の確かな信頼を育てていくのです。

企画メンバーへのインタビュー

原点につながる「価値創造」の体現 南山太志 会長

山口会長が掲げる「価値創造」を体現したいという思いから企画しました。普段の倫理経営講演会とは異なる「自主企画」という形をとり、会の飛躍を築かれた歴代のリーダーをお招きすることで、原点につながる場を目指しました。当日の盛況は、会員一人ひとりが熱意を持って声をかけてくださった結果です。

役割を通じた学びと成長

実行委員長 磯部泰司 幹事

普段は指示を出す立場ですが、今回は、実行委員長として仲間と力を合わせていくことで多くを学び、今後の経営にも活かしていきたいです。

副実行委員長 武井良介 幹事

この立場で物事を俯瞰して見ることができ、自分自身の成長につながったと感じています。

次代へつなぐ「喜働」のバトン 石垣裕也 専任幹事

霞が関の会員には、重要行事の実行委員という大きな役割を通じて「喜働」を体感してほしいという思いから、実行委員の経験が無い会員を毎回中心に選出しています。「お役によって会員が成長し、喜働のバトンを次につなぐ。実行委員は達成感、やり甲斐のあるお役ですのでぜひ積極的に受けてほしいですね。



活気に満ちた今回の企画。メンバーの成長、役割配分のあり方は、各単会の運営にも参考になる取り組みといえそうです。ぜひ今後の企画や運営のヒントにしていいただければ幸いです。

文京区倫理法人会

人生と経営を根底から問い直す必聴の講話

人生を根底から



2月28日(土)に文京区倫理法人会の自主企画が行われました。会場には100人を超える参加者が集まり、今回のイベントに対する強い思いが感じられました。

小林桂子名誉法人アドバイザー(以下、小林名誉AD)による講演を中心としたプログラムで、第一部では文京区倫理法人会の石川晶子幹事と島田実相談役が登壇し、実践体験報告をされました。お二人は共に小林名誉ADから倫理指導を受けた経験をお話しされ、特にご家族との関係についての指導という共通点が印象的でした。

第二部では、こんにやく工場を営む会社のご家族関係の修復や小林名誉ADご自身の体験が語られ、会場からはすすり泣く声も。また、愛知県倫理法人会 大塚祥吉相談役のご家族とのお話も紹介され、サプライズで会場の島田相談役ご本人も登壇され、ご家族と小林桂子先生への感謝の言葉を述べられていました。

登壇者全員が本音で語られ、心を強く打たれる感動的な時間となりました。



(写真:石川 晶子 幹事)

参加者や文京区会員の感想

「いつもアットホームなモーニングセミナーを凝縮した素晴らしい自主企画だったと感じています」
「改めて、家族のつながりと感謝を感じ、苦難をプレゼントと考える学びの時間でした」
「実践を聞き、自分の倫理を通じてなにか出来るように思える、素晴らしい講話でした」

原浩司専任幹事と常次朱音事務長インタビュー

文京区の自主企画は、「どうしても小林桂子先生にお願いしたい」という宮下しのぶ会長と原専任幹事の強い想いから始まりました。94歳というご年齢だからこそ「人生を懸けた最後の講話になるかもしれない」と覚悟をもって依頼されました。テーマは「家庭が整ってこそ経営は成り立つ」であり、人生と経営の本質を問う講話への期待が高まりました。集客成功の最大要因は小林名誉ADの存在感でした。目標200名は短期集中でほぼ完売しました。柔軟なチケット管理と会計を担った常次事務長の尽力に、原専任幹事は深く感謝しています。入会2年目、独立1年半という学びの渦中にある常次事務長は、会歴が長い方々の動員力を活かし企画を成立させました。結果として対外発信と新たな接点創出の場を築きました。大規模講演会は通常業務と異なり連携の難しさもありますが、各自が自ら判断し進めることを重視し、基本は任せの方針で臨みました。さらに文京区には、会員同士の人となり分かる「文のみやこ塾」という「根」となる存在の会があり、その土壌が今回の成功を支えています。

岩田将則実行委員長インタビュー

文京区倫理法人会初の自主企画として開催された倫理経営者講演会。「文京区らしき会を出そう」という会長の一言から始まり、小林名誉ADの登壇が実現しました。実行委員長は、あえて「何もしないをする」姿勢を選択しました。他地区のやり方を持ち込まず、メンバーを信じて任せることで各チームが自発的に動きました。その経験は、自身の会社経営にも通じる「組織が自走する姿」の疑似体験となりました。笑いの裏に、人を信じるリーダーシップが光る講演会となりました。



(写真:島田 実 相談役)

渋谷区倫理法人会

渋谷区自主企画に向けて (Road to 自主企画)

3月27日、渋谷区倫理法人会による自主企画が開催されました。開催に先立ち、荒谷健一郎会長、工藤健太郎専任幹事に今回に対する思いを伺いました。今回の自主企画である日本創生ナイトセミナーは、渋谷区倫理法人会設立35周年記念イベントの1つとして位置づけているそうです。

自主企画では、単会で講話者を選定できるため、渋谷区として「自信をもって登壇していただける方をお願いしたい」との思いから、渋谷のスターとも言える株式会社オーダースーツSADAの佐田展隆社長(渋谷区倫理法人会 幹事)、そして工藤直彦法人スーパーバイザー(以下SV)のお二人が真っ先に候補に挙がり、お声がけいたしました。

当日は二部構成で、第一部では佐田社長と工藤法人SVによる講話、第二部では懇親会を兼ねたシェア会が設けられました。「第一部は講話者が主役、第二部は参加者が主役」という明確な意図が込められています。

倫理研究所からも、シェア会の充実が求められており、渋谷区としても、ゲスト参加者が入会につながるような交流の場にしたいとの思いから、参加者同士が着座してコミュニケーションを取れる設えをしております。代表者が質問する形式ではなく、講話者と参加者が直接意見を交わせる場づくりを目指しています。



東京都で新たな取り組みとして始まった自主企画。

それぞれの単会が創意工夫を重ねながら開催しており、渋谷区の取り組みも今後の展開が期待されます。

三単会 倫理経営講演会自主企画 心を一つに踏み出した一歩

八王子市・町田市・ひの多摩の三単会合同による「倫理経営講演会 自主企画」が5月16日に開催されました。今期の制度変更で可能となった「合同開催」という新しい挑戦。その一歩は、八王子の坂本兼一会長の呼びかけから静かに動き始めました。

初めての試みゆえの不安もありましたが、それ以上に「素晴らしい一日にしよう」という希望が三単会の中に広がっていききました。歩んできた道や運営の形は違えど、その違いを越えて心を合わせ、一つの会を創り上げる過程そのものが、私たちにとってかけがえのない学びとなりました。

1月末のキックオフ以来、毎週のオンラインミーティングを重ね、議事録の共有や呼びかけを通して準備を進めてまいりました。当初掲げた「約300名の参加」という目標。強い印象を払拭し、誰もが安心して足を運べる温かな場にしたいという願いを込め、一歩ずつ歩みを進めてきたのです。

初めてだからこそ直面した課題も、すべてを学びに変えて前へ進む。そのひたむきな準備の歩み自体が、まさに「倫理の実践」であったと感じています。三単会が心を一つにして迎えたこの日が、地域に新たな希望の灯をともす一日となったことを願い、尽力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

(※ このインタビューは開催前に行なったものです。)



HACHIOUJISHI
MACHIDASHI
HINOTAMA

今年の広報委員会は攻めている？

ついにこのお二人に真正面から対談していただきました。

【小林 道子】(以下、小林)：本日は東京都倫理法人会主催「倫理経営フォーラム」に登壇される株式会社玉寿司の中野里陽平社長(中央区倫理法人会 幹事)をお招きして、三代目若手経営者の中野 陽平さん(有限会社中野 代表取締役社長/赤坂倫理法人会 事務長)が経営の大先輩である中野里社長にお話を伺う形で進めたいと思います。



中野里陽平対談

正しい日本型経営と「経営者の覚悟」

中野 陽平(以下、中野)：私は祖父と父から事業を継いだ三代目ですが、家族経営ゆえに「社員を抱える覚悟」が足りないと感じています。数々の苦難を乗り越えられた中野里社長の考える「経営者の覚悟」とはどのようなものなのでしょうか？

中野里 陽平(以下、中野里)：覚悟というものは平時では実感しにくいものです。私は事業再生や震災、コロナ禍といった「にっちもさっちもいかない逆境」の中で、初めて自分の覚悟を突きつけられました。それは一言で言えば、「この職を愛している」「何とんでも会社を守り抜く」という強い愛情です。逆境こそが、その愛情の深さを覚悟として露わにするのです。

中野：今回のフォーラムで登壇されるキッコーマンの茂木代表取締役専務執行役員の経営にも、そのヒントがあるのでしょうか？

中野里：はい。茂木氏は「日本型経営」を体現されています。目先の利益ではなく、社員や取引先を大切に、健全な収益で社会に貢献する。そして「醤油」という一つの価値を磨き続ける姿勢です。企業を永続させる正しいあり方を、ぜひ学んでいただきたいですね。

易不易—小さな改善の積み重ねが「進化」を生む

長い歴史を支える経営者として、大切にされている理念は。

中野里：変えてはならないのは「真心込めて寿司を握る」という根幹の技術と心です。一方で変えるべきは、消費者目線での「小さな改善」です。例えば、パッケージの文字を大きくする、ネタケースをなくして職人の手元を見せるライブ感を演出するといった、お客様の小さな違和感の解消やアイデアの積み重ねが、10年後には大きな「進化」となります。

中野：大きな変化ばかりに目を向けて焦っていましたが、日々の小さな修正が進化に繋がるのですね。

苦難を乗り越える「自己規律」と「意志の力」

中野里社長は先代との繋がりや「苦難」についても語られていますね。

中野里：当社の本店は東京大空襲で全てを焼かれましたが、祖母が女手ひとつで4人の子供を抱えながらも再建しました。その苦勞に比べれば、私の直面した困難など大したことはないと思えるものです。倫理で学ぶ「苦難福門(苦難は幸福の門)」の通り、覚悟を決めれば道は開けます。運命は占いで決まるのではなく、自らの意志で切り拓くものです。

強い意志を保つための日々実践していることはありますか？

中野里：30年間、年間150回以上のトレーニングを継続しています。疲れている目は「やりたくない」という感情が湧きますが、それに流されず、「やる」と決めた行動を意志の力で選択するのです。これを繰り返すと自分を律する精神力が鍛えられます。ネガティブな感情はビールの泡のようなもので、前向きな行動を起こせば消えてしまいます。

若手経営者へのメッセージ

最後に、若手経営者へメッセージをお願いします。

中野里：当社の本店は東京大空襲で全てを焼かれましたが、祖母が女手ひとつで4人の子供を抱えながらも再建しました。その苦勞に比べれば、私の直面した困難など大したことはないと思えるものです。倫理で学ぶ「苦難福門(苦難は幸福の門)」の通り、覚悟を決めれば道は開けます。運命は占いで決まるのではなく、自らの意志で切り拓くものです。

強い意志を保つための日々実践していることはありますか？

中野里：貪欲かつ謙虚に学んでください。そして「儲けるため」ではなく「誰の、どんな役に立つために事業をやるのか」という軸を決めてブレさせないこと。少しの利益で浮かれず、ストイックに使命に向き合い続けてください。共に頑張りましょう。

中野：事業の軸を見つめ直し、覚悟を持って進んでいきます。ありがとうございました。

築地玉寿司 四代目

株式会社玉寿司 代表取締役社長
中野里 陽平

鯉節問屋 三代目

KATSUBUSHINJAA
有限会社中野 代表取締役
中野 陽平

若手経営者へ

訊

継ぐことは、新しく創ること。
チーム経営で老舗の歴史を更新する

毎朝4時半の「朝起き」が、老舗酒屋に新たな風を吹き込む。コロナ禍の窮地を救ったのは、家族経営の枠を超えた「チームの力」でした。「明朗・愛和・喜働」を指針に、100年先を見据えてバトンを磨き続ける若手経営者、小池(旧姓東海林)美保さん(墨田区倫理法人会 会員)の挑戦に迫ります。

家業である三益酒店を継ぐことになった経緯

大学卒業後は大阪の商社で働いて、そこで将来のキャリアも描いていました。しかし、地酒専門店を営む母が体調を崩し、実家に戻ることになったんです。その時は2代目である父と価値観が合わず、衝突の毎日でした。何より辛かったのは、周囲から経営者ではなく「お手伝いの娘さん」と見なされたこと。自分の立場を確立するために、役職の必要性を痛感していました。

「後継者倫理塾」への入塾と学び

最初はお店の人手不足や費用の面を理由に入塾の誘いを断っていました。しかし「一年で人生が変わる」という言葉に背中を押されました。結果、この塾での学びが私の経営観を大きく変えることになりました。それまでは「トップは何でもできなければならない」と思っていたが、「船長が全てできなくても、役割を持った船員がいればゴールに向かえる」と、仲間に頼る大切さを学んだんです。



三姉妹での役割分担と 家族関係の変化

私が代表、次女が店舗管理、三女が角打ち(立ち飲み)運営を担当し、母が経理と相談役として支えてくれています。父との関係も、倫理の「親は身近な神様」という教えを指針に、少しずつ変わってきました。かつて父が、私のオムツ代を稼ぐために段ボールを売ってまで必死に働いてくれたという話を聞き、その苦勞と功績を敬うことで、対立を乗り越えるバランスの役割を果たせるようになりました。

経営面での新たな挑戦

コロナ禍で飲食店への配送が止まった際、オンラインで全国と繋がるサブスクリプション「三益倶楽部」を始めました。これは家族経営の枠を超えた「チームの力」があったからこそ実現できたものです。また、自分の時間を確保するために毎朝4時に起きる「朝起き」を実践しています。静かな時間に資料作成やSNS発信を行い、自己研鑽に励んでいます。

同じ境遇の若手経営者へのメッセージ

大切なのは、倫理の基本である「明朗・愛和・喜働」です。正しさよりも明るさを優先し、応援されるリーダーを目指しています。事業承継は「選ばれた人だけの運命」。創業77年の歴史を100年、その先へと繋ぐため、「ワクワクを創出する酒屋」としてバトンを磨き続けていきたいですね。

創業77年の歴史を「ワクワク」へと変えていく小池さんの歩みには、私たち一人ひとりの経営や生活にも通じるヒントが詰まっています。

皆様も、日々の生活の中で大切にされている「明朗・愛和・喜働」の実践や、自分自身を整える「朝起き」など、今日から大切にしたい小さな一歩について、ぜひ思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



活気溢れる! MS朝食グルメ!



① 練馬区
サラダ&ハーフトースト
ゆで卵モーニングセット 549円
 ジョナサン第一号店の練馬高松店。広々とした空間で会話が弾みます。和食、洋食、その日の気分で選べるモーニングが嬉しい。



② 国黒区
ゆぐりん
お茶のおもてなし 無料
 毎週2種の中国茶や紅茶のセレクト。香りと味のMS前のお楽しみ。



③ 中野区
週替わり弁当
「のり弁」 500円
 週替わりで、幕の内弁当、「あさり」「しらす」のり弁当などバラエティに富んでいます。(写真はのり弁当)



④ 北区
各メニュー 820円
 和食、洋食、その日の気分でチョイス可能!!好きなドリンクも飲み放題!!講話者とシェアの深掘りして、朝から盛り上がってます。



⑤ 渋谷区
おにぎりセット 月1回は
スペシャル朝食? 700円
 モーニングセミナーにご参加頂く様々な出会いを通してあなたに「むすび」で繋がれます様に、美味しいおむすびを用意しております。



⑥ 新宿区
ホテルのデニッシュと飲み物
1,500円
 第二セミナー(シェア会)ご参加の方の為に、京王プラザホテルのクロワッサンとデニッシュ、温かいコーヒーまたは紅茶をご用意しております。飲み物、おかわりできます。



⑦ 豊島区
おむすびセット 500円
 作りたてのおむすび2つとお茶のセット。和風朝食を食べながら、和やかな雰囲気朝食会が行われています。



⑧ 杉並区西
杉並区西倫理法人会
オリジナルお弁当 500円
 500円(税込)で、我々だけのオリジナルお弁当!さらにMS時間に合わせ配達していただけるのでホックリです。



⑨ 杉並区東
おにぎり弁当 600円
 温かい味噌汁付きでほっこり。会員さんのお店のおにぎりとお惣菜で今日も元気で!



⑩ 世田谷区
お弁当や焼きたのパン
イベントは特別仕様の朝食 549円
 【通常回】毎週の楽しみ「旬菜orパンのヘルシー朝食」【1日限定!!】新年の決意を祝う「特別寿司弁当」【2000回記念】歴史と感謝の「福み弁当」



⑪ 渋谷区中央
おむすび弁当 800円
 築地仕込みの厳選素材、こだわりおむすび弁当で心も体も満たされる爽やかな朝を。お茶・コーヒー付き

●いたばし倫理法人会は、朝食会はなく、独自の交流タイムを実施しています。

朝

活力朝礼甲子園!

魅力を届けるステージ、

8月1日(土)、四谷区民ホールにて活力朝礼甲子園が行われます。柳澤真由美朝礼委員長(以下、柳澤委員長)と、実行委員長の池田龍一さん(以下、池田実行委員長)に想いを伺いました。

客観的な視点が朝礼を「共通の目標」に変える

柳澤委員長は「動画撮影をする事が毎日の朝礼に小さな目標として機能する」とその意義を語り、池田実行委員長も撮影を通じて「自社の姿を客観的に捉え、視点を合わせること」の価値を強調されています。映像で振り返るプロセスは、社内の絆を結束させ、職場を活性化させるきっかけとなります。活力朝礼は企業の「今」を映し出す鏡といえます。※活力朝礼を撮影した動画により一次選考を行い、通過した企業が本選に出場します。

「価値創造」から「ありがとう」へ

柳澤委員長は、朝礼を自社商品の魅力を再認識し、磨き上げる「価値創造」の場として提案。その価値を届けることで、社長から社員へ、そして社員から社長へも「ありがとう」に繋げていく。そんな朝礼のあり方を望んでいます。また池田実行委員長は、以前の見学会で「朝礼の導入が業績改善に寄与した企業」の実例に触れ、経営に悩む方々へこの可能性が届いてほしいと願っています。

26歳の決意と、魅力を届ける挑戦

26歳で大役を引き受けた池田実行委員長は「不安はあるが、今回の機会を最大限に活用したい」と語ります。自身が先頭に立ち、イベントを知らなかった方へも魅力を広げ、素晴らしい企業を紹介していく。その熱い想いが挑戦を支えています。活力朝礼甲子園は自社の良さを伝える貴重な場。結束を深めるだけでなく、魅力を社外へ発信する人材育成の機会としても大きなメリットがあります。

共に歩む「朝礼見学会・指導」

大会に向けた研鑽や自社の朝礼活性化のため、委員会では以下を実施しています。
 活力朝礼見学会：実際に企業を訪問し、朝礼から会社のビジョンや在り方に触れる場。
 朝礼指導：朝礼委員が直接訪問し、朝礼の意義を確認しながら課題に合わせてアドバイスいたします。

8月1日(土)、各社の想いが詰まった活力朝礼が集結します。ぜひ会場へ足をお運びください。



仲間の「実践」を、 単会みんなの勇気に。

蕪木大 モーニングセミナー委員長

スピーチフェスタに向けた準備が、各単会で始まっています。この取り組みの根底にあるのは、特別な成功物語を称えることではなく、日々の小さな「実践」を分かち合うことです。

「実践したら、こう変わった」。仲間のそんな等身大の報告を聞く中で、私たちは改めてその人を知り、互いの歩みを尊重し合うようになります。スピーチの優劣を競うのではなく、切磋琢磨する仲間の姿に「自分もやってみよう」と勇気もらう。その心の共鳴こそが、フェスタの真の目的です。

単会から代表者を選び、応援合戦の準備を進める過程は、そうした絆をさらに深める大切な時間となります。

一人の登壇者を主役にするのではなく、練習や準備を通じた交流が、単会の中に確かな一体感を醸成していきます。

今年度のスローガンは
あなたの実践が、誰かの勇気になる。

身近な仲間の挑戦を心から応援し、共に成長を喜び合える。
そんな温かな空気を、日々の活動の中から、
みんなで育てていきましょう。



6・7月のイベントスケジュール

6月

- 2日(火) 青年委員会 定例会(事) 19:00~20:30
- 6日(土) 後継者倫理塾
北区倫理法人会35周年
- 10日(水) MS委員会 定例会(事) 18:30~
- 11日(木) 定着委員会 定例会(事) 18:30~19:50
- 13日(土) 葉の学習会 10:00~12:00
倫理経営フォーラム(京王プラザホテル) 17:00~21:00
- 18日(木) 女性委員会イベント
- 19日(金) 朝礼委員会 定例会(事) 19:00~21:00
- 20日(土) 後継者倫理塾
倫理経営実践塾
広報委員会 定例会(事) 11:00~13:00
倫理経営実践塾
研修委員会 定例会(Zoom) 18:30~20:00

7月

- 8日(水) MS委員会 定例会(事) 18:30~
- 9日(木) 定着委員会 定例会(事) 18:30~19:50
- 11日(土) 後継者倫理塾
広報委員会 定例会(事) 11:00~13:00
後継者倫理塾(修了式)
- 12日(日) 研修委員会 定例会(Zoom) 18:30~20:00
- 13日(月) 青年委員会 定例会(事) 19:00~20:30
- 14日(火) 女性委員会 定例会(事) 10:30~12:00
- 16日(木) 朝礼委員会 定例会(事) 19:00~21:00
- 17日(金) 倫理経営実践塾
- 19日(日) 倫理経営実践塾 卒塾式
- 20日(月・祝) 女性委員会(大イベント)
- 26日(日)

(事): 場所 事務局会議室

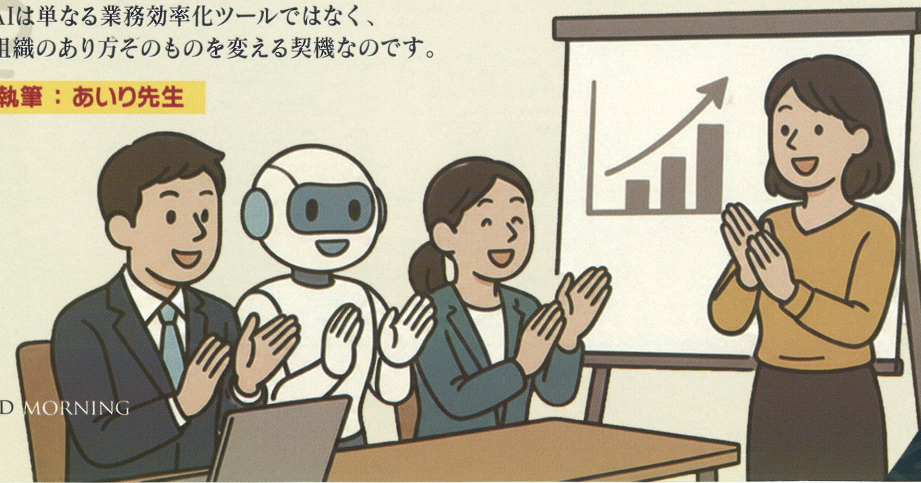
AIによる 革新

AI導入後に訪れる組織進化のフェーズ

本当の効率化はここから始まる

Indeedは全社員にAI教育を行い、業務効率と自信を高めています。私の経験でも、AIを導入すると多くの企業は「効率化」を実感しますが、本当の変化はその先にあります。導入後、意思決定のスピードが上がり、情報共有の質が高まり、社員が主体的に動き始める。この「組織進化」のフェーズに入ってからこそ、本格的な効率化を実感します。倫理法人会で言う「人づくりが会社づくり」は、まさにこの段階に当たります。ツールを与えるだけでなく、安心して使える環境と、共に学び成長する文化をつくること。それが経営者の役割です。AIは単なる業務効率化ツールではなく、組織のあり方そのものを変える契機なのです。

執筆：あいり先生



編集後記

高岡 裕 広報委員長(小金井市)

中野里×中野対談、いかがでしたか。名前の縁で生まれた企画ですが、先輩が後輩へ想いを手渡す、倫理法人会らしい対談となりました。

昌 健太郎 広報副委員長(霞が関)

現場でしか感じられないことに触れられるのは取材の醍醐味です。広報委員会は正に倫理の学習と実践の場だと改めて感じました。ありがとうございます。

松岡 知宏 幹事(文京区)

一大行事の倫理経営講演会自主企画。実行委員長をはじめとした様々な方の思いが、当日の素晴らしい会を形作っているのだと改めて感じました。取材した仲間の熱意にも感謝です。

小林 道子 会員(杉並区東)

某対談の進行を担当させていただきました。委員長・副委員長のサポートでチャレンジさせて頂きました。会では週刊ちらしも担当させて頂き、実践の場に感謝です。

菅野 文子 幹事(文京区)

霞が関倫理経営講演会を取材、記事の作成を担当させて頂きました。実行委員長、役員の方々が熱い思いで準備されてきたお話を聞けたことは広報ならではの特典でした!

大下 久夫 幹事(新宿区)

単会グルメ企画や対談の制作を通じ、実践の意義を再確認いたしました。本号を無事にお届けできたことに、厚く御礼申し上げます。

須貝 一生 幹事(渋谷区)

取材を通じて他の単会の取り組みを知れて自単会と比較ができると感じています。学んだことを自単会や自分の事業に活かせるなど感じています。皆様も広報委員会にジョインしてみても?

清水 洋子 相談役(武蔵野市・三鷹市)

事業承継ならではの苦勞を乗り越え、倫理経営で成果を重ねてきた姿に深く学ぶ時間をいただきました。若手経営者の取材に参加できたことに本当に感謝します。

令和8年度 倫理経営フォーラム

第二部 パネラー
株式会社玉寿司
代表取締役社長
東京都中央区倫理法人会
中野里 陽平氏

第二部 パネラー
BNIジャパン ナショナルディレクター
武蔵野市・三鷹市倫理法人会所属
大野 真徳氏

第一部 基調講演
キッコーマン株式会社
代表取締役専務執行役員
茂木 修氏

第二部 パネラー
株式会社芝寿し
代表取締役社長
石川島野々市市倫理法人会
梶谷 真康氏

第二部 パネラー
社会福祉法人ちとせ交友会
理事長
東京都倫理法人会第14代会長
山口 哲史氏

価値創造

～利他の心が、新しい価値を生む～



実行委員長
A.Cast.Partner's株式会社
取締役
東京都倫理法人会副幹事長
山本 莉那氏



第二部ファシリテーター
アーティスティックコミュニティ
代表
一般社団法人倫理研究所法人局法人スーパーバイザー
工藤 直彦氏

6/13 土 2026

- スケジュール (予定)
- 17:00- 第一部基調講演
 - 18:00- 第二部パネルディスカッション
 - 19:00- 懇親会
アトラクション演奏
 - 21:00 閉会

お申込み方法

下記QRコードよりお申込みをお願いいたします

▼現金決済の場合はこちら ▼電子決済の場合はこちら



みずほ銀行 (0001) 九段支店 (532) 普通 1589941
シヤ) リンリケンキョウシヨ トウキョウトリンリハウスジ

場所 京王プラザホテル
東京都新宿区西新宿2丁目2-1

参加費 10,000円 (着席コース料理・アルコール含むお飲物費用含む)

申込期限: 2026年5月15日(金)まで
キャンセルポリシー: お申し込み後のキャンセルにつきましては、5月15日(金)までにご連絡をお願いいたします。
※ お問い合わせは左QRコードからお願いいたします

主催: 東京都倫理法人会

広報委員会

本誌アンケートのお願い

左記のQRコードより、アンケートにご回答ください。所要時間は1分程度です。今後の参考とさせていただきますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

